



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日
東

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	25,784	23.1	3,044	61.3	4,382	0.5	3,003	△5.5
26年3月期第2四半期	20,942	42.8	1,887	—	4,360	—	3,176	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 4,054百万円(3.5%) 26年3月期第2四半期 3,919百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	87.78	—
26年3月期第2四半期	92.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	123,428	96,309	77.9
26年3月期	119,727	93,222	77.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 96,115百万円 26年3月期 93,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	17.50	32.50
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	17.50	32.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	25.5	6,000	119.6	6,800	△7.5	4,600	△5.4	134.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	36,600,000株	26年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,380,556株	26年3月期	2,380,089株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	34,219,685株	26年3月期2Q	34,220,594株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では雇用の回復や堅調な個人消費に支えられ景気拡大が続いていますが、欧州では全体的に回復の足取りは鈍く、中国をはじめとする新興国でも成長ペースが鈍化するなど弱含みな推移となりました。わが国においては消費税率引き上げの影響が長引いているものの、経済対策による下支えなどで景気は緩やかな回復基調となっています。

このような経済情勢の中、当社グループは国内外ユーザーの様々なニーズを捉え、市場に適合した新機種の開発とソリューション提案型の営業活動に注力いたしました。

当社のコア・ビジネスである横編機事業において、主力の中国市場では、人件費の上昇や労働力不足により、ニットメーカーの事業環境は厳しさを増していますが、内需向けへの転換や、生産効率および品質の向上により競争力の向上をはかる動きも見られ設備投資が回復しました。また、香港系の大手ニットメーカーは中国工場での一定の生産規模は維持しつつ、日米欧の大規模アパレル向けの生産量増大に対応すべくASEAN諸国での生産を拡大しており、これらの地域でコストパフォーマンスに優れたコンピュータ横編機「SSR」や、機能向上を追求した新機種「SVR」の設備導入が進みました。さらに、近年急速に先進国アパレル向けの生産量が高まったバングラデシュにおいては、手動式の横編機から短納期で高効率な生産に対応できるコンピュータ横編機への転換需要が旺盛で、「SSR」を中心に売上が大きく伸長しました。一方で、近年拡大基調が続いていたトルコにおいては設備更新が停滞しました。また、ホールガーメント®横編機による多彩なデザインで高級品市場に強いイタリアを中心とする欧州市場においても、景気低迷の影響を受けて設備投資は低調な推移となりました。

国内市場では、円高是正により生産回帰が進んでいますが、前期に比べてコンピュータ横編機の設備投資は減速しました。

横編機事業全体では、アジア市場が大きく伸びたことで売上高は200億98百万円（前年同期比23.5%増）と増加しました。

デザインシステム関連事業においては、近年、幅広い業界に販路が広がり、売上高も拡大基調が続いておりますが、主力製品の「SDS-ONE APEX3」は国内市場においてはやや減速したものの、海外市場での売上が増加しました。また、自動裁断機「P-CAM」については機種バリエーションを展開し、自動車内装部品、炭素繊維などの産業資材関連に販路が拡大しました。この結果、事業全体の売上高は前年同期並みの15億57百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、当社製品の安定性や耐久性、生産商品の品質の良さが見直され、国内外の大手メーカーからの受注が回復し、売上高は11億83百万円（前年同期比113.9%増）と大幅に増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は257億84百万円（前年同期比23.1%増）となりました。利益面におきましては、販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加がこれを吸収し、営業利益30億44百万円（前年同期比61.3%増）となりました。また営業外で為替差益10億97百万円が発生したことで経常利益は43億82百万円（前年同期比0.5%増）、当第2四半期純利益は30億3百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

*ホールガーメントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べ37億1百万円増加し、1,234億28百万円となりました。また自己資本の額は961億15百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて0.2ポイント上昇し、77.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において、売上債権の増加や法人税等の支払により29億3百万円の資金の減少（前年同期は13億59百万円の資金の減少）となりました。投資活動においては、定期預金の払戻による収入などにより22億4百万円の資金の増加（前年同期は3億90百万円の資金の減少）となりました。

また、財務活動においては、配当金の支払や短期借入金の返済などにより9億94百万円の資金の減少（前年同期は8億87百万円の資金の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末に比べて13億60百万円減少し124億58百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月23日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が539百万円減少し、退職給付に係る負債が38百万円増加し、利益剰余金が372百万円減少しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,002	13,706
受取手形及び売掛金	42,964	52,226
有価証券	70	59
商品及び製品	11,687	9,589
仕掛品	837	735
原材料及び貯蔵品	7,065	7,080
その他	2,969	3,313
貸倒引当金	△1,301	△1,372
流動資産合計	80,297	85,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,388	5,624
土地	10,879	10,814
その他(純額)	3,608	3,621
有形固定資産合計	19,876	20,060
無形固定資産		
のれん	4,762	4,851
その他	90	106
無形固定資産合計	4,852	4,957
投資その他の資産		
投資有価証券	8,417	7,863
退職給付に係る資産	784	297
その他	6,813	6,383
貸倒引当金	△1,315	△1,471
投資その他の資産合計	14,700	13,072
固定資産合計	39,430	38,091
資産合計	119,727	123,428

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,290	5,606
短期借入金	6,695	6,501
未払法人税等	2,310	1,419
賞与引当金	761	1,038
債務保証損失引当金	669	728
その他	3,786	3,841
流動負債合計	18,514	19,135
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
長期末払金	1,083	1,087
退職給付に係る負債	526	555
その他	1,379	1,341
固定負債合計	7,989	7,984
負債合計	26,504	27,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	71,158	72,850
自己株式	△6,904	△6,904
株主資本合計	100,837	102,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328	567
土地再評価差額金	△7,350	△7,007
為替換算調整勘定	△1,138	△309
退職給付に係る調整累計額	351	333
その他の包括利益累計額合計	△7,808	△6,414
新株予約権	180	180
少数株主持分	13	13
純資産合計	93,222	96,309
負債純資産合計	119,727	123,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	20,942	25,784
売上原価	11,799	14,531
売上総利益	9,143	11,252
販売費及び一般管理費	7,255	8,208
営業利益	1,887	3,044
営業外収益		
受取利息	152	192
受取配当金	71	80
為替差益	2,250	1,097
その他	114	139
営業外収益合計	2,588	1,510
営業外費用		
支払利息	42	59
デリバティブ損失	31	41
その他	41	71
営業外費用合計	115	172
経常利益	4,360	4,382
特別利益		
投資有価証券売却益	-	61
特別利益合計	-	61
特別損失		
減損損失	-	26
固定資産除売却損	-	11
特別損失合計	-	38
税金等調整前四半期純利益	4,360	4,406
法人税、住民税及び事業税	1,035	1,382
法人税等調整額	147	19
法人税等合計	1,183	1,402
少数株主損益調整前四半期純利益	3,177	3,003
少数株主利益	0	0
四半期純利益	3,176	3,003

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,177	3,003
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	80	238
為替換算調整勘定	661	829
退職給付に係る調整額	-	△17
その他の包括利益合計	742	1,050
四半期包括利益	3,919	4,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,918	4,054
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,360	4,406
減価償却費	761	777
のれん償却額	183	191
貸倒引当金の増減額(△は減少)	523	252
賞与引当金の増減額(△は減少)	252	273
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△83	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△81
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,064	-
受取利息及び受取配当金	△223	△273
支払利息	42	59
為替差損益(△は益)	△993	△1,075
有形固定資産除売却損益(△は益)	-	11
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△61
減損損失	-	26
デリバティブ損失	31	41
売上債権の増減額(△は増加)	△5,662	△8,435
たな卸資産の増減額(△は増加)	138	2,121
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△32	△459
仕入債務の増減額(△は減少)	△699	1,625
その他の流動負債の増減額(△は減少)	95	△130
その他	1,031	△91
小計	△1,340	△822
利息及び配当金の受取額	209	260
利息の支払額	△41	△87
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△186	△2,254
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,359	△2,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,561	△540
定期預金の払戻による収入	2,233	2,766
有価証券の償還による収入	499	-
有形固定資産の取得による支出	△343	△710
有形固定資産の売却による収入	2	12
投資有価証券の取得による支出	△3	△202
投資有価証券の売却による収入	-	1,210
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△146	131
長期貸付けによる支出	△10	△350
その他	△60	△111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390	2,204

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△208	△199
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△175	△195
自己株式の取得による支出	△3	△0
自己株式の売却による収入	4	-
配当金の支払額	△504	△598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△887	△994
現金及び現金同等物に係る換算差額	862	332
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,773	△1,360
現金及び現金同等物の期首残高	16,648	13,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,874	12,458

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,269	1,557	553	18,380	2,562	20,942
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,269	1,557	553	18,380	2,562	20,942
セグメント利益	3,706	351	61	4,119	281	4,401

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,119
「その他」の区分の利益	281
全社費用(注)	△2,513
四半期連結損益計算書の営業利益	1,887

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,098	1,557	1,183	22,840	2,943	25,784
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	20,098	1,557	1,183	22,840	2,943	25,784
セグメント利益	4,643	378	255	5,277	340	5,618

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,277
「その他」の区分の利益	340
全社費用(注)	△2,574
四半期連結損益計算書の営業利益	3,044

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	生産高	前年同四半期比
横編機	16,550	112.1%
デザインシステム関連	1,451	105.1%
手袋靴下編機	1,164	241.8%
合計	19,166	115.2%

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	15,146	99.1%	2,793	72.6%
デザインシステム関連	1,751	108.2%	429	130.9%
手袋靴下編機	1,828	395.6%	858	570.4%
合計	18,726	107.8%	4,081	94.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	20,098	123.5%
デザインシステム関連	1,557	100.0%
手袋靴下編機	1,183	213.9%
その他	2,943	114.9%
合計	25,784	123.1%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。